

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細 別		a	a'	b	b'	c	d	e
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
2. 施工状況	I. 施工管理		<p>「評価対象項目」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ① 契約書第18条第1項第1号～5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。 ■ ② 施工計画書が工事着手前又は施工方法が確定した時期に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。 ■ ③ 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 ④ 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合（工期や数量等の軽微な変更は除く）は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。 ⑤ 工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。 ⑥ 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。 ⑦ 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。 ⑧ 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。 ⑨ 下請に対する引き取り（完成）検査を書面で実施していることが確認できる。 ■ ⑩ 工事の関係書類を事前協議に基づき過不足なく作成していることが確認できる。 ⑪ 社内の管理基準の設定、管理方法が工事毎に明確であり、その内容に基づき管理していることが確認できる。 ⑫ 施工環境監視者の活用工事において、施工環境監視者の提案、指導に基づき、周辺海域の自然環境や水生生物の生育環境に配慮した施工を行っている。漁港事業（漁港・漁港海岸及び漁場の施設整備工事） ⑬ その他 理由： _____ 					<input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 施工管理について、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・ a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・ b</p> <p>評価値が80%未満・・・ c</p>			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の□にチェックを記入する。</p> <p>② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数(○) / 評価対象項目数(4)</p> <p>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>						

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

【 土 木 】
 (検 査 員)

考査項目	細 別	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																																						
3. 出来形及び出来はえ	I. 出来形		□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内(50%以内含む)で、下記の「評定対象項目」の2項目以上が該当する。	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~b' に該当しない。	□ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	□ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																																						
			<p>「評価対象項目」</p> <p>① 出来形管理が出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。</p> <p>② 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p>③ 不可視部分の出来形を写真(監督員が臨場した箇所を除く)で確認できる。</p> <p>④ 写真管理基準の管理項目を満足している。</p> <p>⑤ 出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p>⑥ その他</p> <p>理由： _____</p>							<table border="1"> <tr> <td colspan="2">ばらつきの評価</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ばらつきが50%以内</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ばらつきが80%以内</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>規格値を満足し、a~b' に該当しない。</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目の該当数</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">管理項目を設定していない</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>a~b'に該当しない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4項目以上</td> <td>a</td> <td>b</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3項目以上</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2項目以上</td> <td>b'</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		ばらつきの評価				<input type="checkbox"/>	ばらつきが50%以内			<input type="checkbox"/>	ばらつきが80%以内			<input type="checkbox"/>	規格値を満足し、a~b' に該当しない。			評価項目の該当数	ばらつきで判断可能			管理項目を設定していない	50%以下	80%以下	a~b'に該当しない	4項目以上	a	b			3項目以上	a'	b			2項目以上	b'
ばらつきの評価																																															
<input type="checkbox"/>	ばらつきが50%以内																																														
<input type="checkbox"/>	ばらつきが80%以内																																														
<input type="checkbox"/>	規格値を満足し、a~b' に該当しない。																																														
評価項目の該当数	ばらつきで判断可能			管理項目を設定していない																																											
	50%以下	80%以下	a~b'に該当しない																																												
4項目以上	a	b																																													
3項目以上	a'	b																																													
2項目以上	b'	b'	c	c																																											
			<table border="1"> <tr> <td>① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。</td> </tr> <tr> <td>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。</td> </tr> <tr> <td>③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。</td> </tr> <tr> <td>④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</td> </tr> </table>				① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。	② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。	③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。	④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。																																					
① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。																																															
② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。																																															
③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。																																															
④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。																																															
			※ばらつきの判断は別紙-4 参照																																												

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【 土 木 】
(検査員)

審査項目	細別	工種	審査項目別運用表					e																													
			a	a'	b	b'	c		d																												
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	多工種複合工事	<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつき判断は別紙-4参照。</p> <table border="1"> <tr> <td>優れている</td> <td>bより優れている</td> <td>やや優れている</td> <td>cより優れている</td> <td colspan="2">他の評価に該当しない</td> </tr> </table>					優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		<p>劣っている</p> <p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p> <p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p>「施工が原因で許容できないクラックが発生したが、無処理のまま完成検査を受検し、手直し指示を受けた」等がみられたら、「e評価」とする。</p>																							
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない																														
主たる1工種のみで評価	<p>該当工種 各工種の評価値(%)</p> <table border="1"> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>多工種工事の評価値 ※各工種の単純平均 ※各工種毎(最大3工種)の評価値を算出する</p> <p>●判断基準</p> <p><A> 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事(浚渫工、取壊し工等)</p> <p>評価値が90%以上・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・ a' 評価値が70%以上80%未満・・・ b 評価値が60%以上70%未満・・・ b' 評価値が60%未満・・・ c</p> <p>なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> <p> 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">評価値</td> <td>90%以上</td> <td colspan="2">ばらつきで判断可能</td> <td>ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table> <p>ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能</p>											評価値	90%以上	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能	75%以上90%未満	50%以下	80%以下	80%を超える	60%以上75%未満	a	a'	b	60%未満	a'	b	b'		b	b'	c			c	c	c
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能																																	
	75%以上90%未満	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	60%以上75%未満	a	a'	b																																	
	60%未満	a'	b	b'																																	
		b	b'	c																																	
		c	c	c																																	

審査項目	細別	工種	審査項目別運用表				e																				
			a	b	c	d																					
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	多工種複合工事	<p>優れている</p> <table border="1"> <tr> <td>選定工種</td> <td>各工種の評価対象項目総数</td> <td>各工種の選定した評価項目数</td> <td>評価値</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>②</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>③</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>計</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table> <p>●判断基準 該当項目が80%以上・・・ a 該当項目が60%以上80%未満・・・ b 該当項目が40%以上60%未満・・・ c 該当項目が40%未満・・・ d</p> <p>評価値(%) = () 評価合計 / () 対象項目総数合計</p>				選定工種	各工種の評価対象項目総数	各工種の選定した評価項目数	評価値	①				②				③				計				<p>やや優れている</p> <p>他の評価に該当しない</p> <p>やや劣っている</p>
			選定工種	各工種の評価対象項目総数	各工種の選定した評価項目数	評価値																					
①																											
②																											
③																											
計																											
主たる1工種のみで評価	<table border="1"> <tr> <td>工種名</td> <td>各工種の評価対象項目総数</td> <td>各工種の選定した評価項目数</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table> <p>各シートの判断基準による。</p>				工種名	各工種の評価対象項目総数	各工種の選定した評価項目数	評価																			
工種名	各工種の評価対象項目総数	各工種の選定した評価項目数	評価																								

●審査項目運用表を、下記から必ず選択する。(チェックし、工事成績採点表に反映させる。)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> コンクリート構造物工事
<input type="checkbox"/> 土工事(盛土、堤防等工事)
<input type="checkbox"/> 土工事(切土)
<input type="checkbox"/> 護岸・根固・水制工事
<input type="checkbox"/> 鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準じる)
<input type="checkbox"/> 砂防・治山構造物工事
<input type="checkbox"/> 地すべり防止工事(集水井工事含)
<input type="checkbox"/> 舗装工事
<input type="checkbox"/> 法面工事
<input type="checkbox"/> 基礎工事及び地盤改良工事
<input type="checkbox"/> 海岸工事
<input type="checkbox"/> コンクリート橋上部工事(PC及びRRCを対象) | <input type="checkbox"/> 塗装工事(工場塗装を除く)
<input type="checkbox"/> トンネル工事
<input type="checkbox"/> 植栽工事
<input type="checkbox"/> 防護柵(網)工事
<input type="checkbox"/> 標識工事
<input type="checkbox"/> 区画線工事
<input type="checkbox"/> 電線共同溝工事
<input type="checkbox"/> 維持工事(清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理等)
<input type="checkbox"/> 修繕工事(橋脚補強、耐震補強、落橋防止等) | <input type="checkbox"/> ため池工事
<input type="checkbox"/> ほ場整備工事
<input type="checkbox"/> 管水路工事
<input type="checkbox"/> 港湾工事(海岸築造工事)
<input type="checkbox"/> 港湾工事(浚渫工事)
<input type="checkbox"/> 下水道工事
<input type="checkbox"/> コンクリート二次製品
<input type="checkbox"/> 浚渫工事
<input type="checkbox"/> 漁場工事(魚礁)
<input type="checkbox"/> 漁場工事(増殖場)
<input type="checkbox"/> その他工事 | <input type="checkbox"/> 堰・水門等工事(工場製作含む)
<input type="checkbox"/> 植栽工事・公園施設工事
<input type="checkbox"/> 特殊地下壕等
<input type="checkbox"/> 上水道工事
<input type="checkbox"/> 下水道工事(推進工事を含む)
<input type="checkbox"/> 下水道工事(シールド)
<input type="checkbox"/> 下水道工事(更生工事) |
|--|--|--|--|

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【土木】
(検査員)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																										
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	コンクリート構造 物工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> ② コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 （寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> ⑤ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑫ スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑬ 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> ⑭ その他 理由：					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																										
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 </div>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th>ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p>				ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																														
		50%以下	80%以下	80%を超える																															
評価値	90%以上	a	a'	b	b																														
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																														
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																														
	60%未満	b'	c	c	c																														
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口をチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（%）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。 </div>																																			

審査項目	細別	工種	a		b		c		d		
			優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		やや劣っている		
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	コンクリート構造 物工事	<input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> ② コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> ③ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> ④ クラックが無い。 <input type="checkbox"/> ⑤ 漏水が無い。 <input type="checkbox"/> ⑥ 全体的な美観が良い。				●判断基準 該当項目が5項目以上・・・・・・ a 該当項目が4項目・・・・・・ b 該当項目が3項目・・・・・・ c 該当項目が2項目以下・・・・・・ d			

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	土工事 (盛土、堤防等工事)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																													
			※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ 法面に有害な亀裂が無い。 <input type="checkbox"/> ⑪ 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑫ その他 理由： _____																																			
			①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。			ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能		●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
	50%以下	80%以下	80%を超える																																			
90%以上	a	a'	b	b																																		
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
60%未満	b'	c	c	c																																		

審査項目	細別	工種		a	b	c	d
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	土工事 (盛土、堤防等工事)	<input type="checkbox"/> ① 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> ② 通りが良い。 <input type="checkbox"/> ③ 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> ④ 構造物へのすりつけなどが良い。 <input type="checkbox"/> ⑤ 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・・・ a 該当項目が3項目・・・・・・ b 該当項目が2項目・・・・・・ c 該当項目が1項目以下・・・・・・ d			

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【土木】
(検査員)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																										
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	土工事(切土)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																										
			※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 切取面以下(法面を含む)に有害な亀裂が発生しないよう丁寧に施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 切取防護柵を確実に施工し、適切に使用されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 施工中の地山の挙動を監視しているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 湧水処理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> ⑥ 汚濁・流出防止対策が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> ⑦ 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ その他 理由： _____																																
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ●判断基準 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を越える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。 </div>		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を越える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以下	80%以下	80%を越える																																
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。 ② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数() ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>																																

審査項目	細別	工種	a	b	c	d	
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	土工事(切土)	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> ② 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> ③ 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> ④ 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 <input type="checkbox"/> ⑤ 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> ⑥ 全体的な美観が良い。			●判断基準 該当項目が5項目以上..... a 該当項目が4項目..... b 該当項目が3項目..... c 該当項目が2項目以下..... d	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	護岸・根固・水制工	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																																
			※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 緑化ブロック、石積（張）、法枠、かこマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 石積（張）工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪ コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑫ 施工にあたって、床堀箇所の湧水及び滯水等は、排除して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑬ 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑭ 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> ⑮ その他 理由： _____				ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能																																		
			●判断基準																																						
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を越える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を越える	評価値	90%以上	a	a'	b	b		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		60%以上75%未満	b	b'	c	c		60%未満	b'	c	c	c	注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																					
	50%以下	80%以下	80%を越える																																						
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																				
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																				
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																				
	60%未満	b'	c	c	c																																				

①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口チェックを記入する。
 ②評価対象項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。
 ③評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）
 ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。

審査項目	細別	工種	a		b		c		d	
			優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		やや劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	護岸・根固・水制工	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 通りが良い。 <input type="checkbox"/> ② 材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。 <input type="checkbox"/> ③ 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> ④ 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> ⑤ 全体的な美観が良い。				●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・・・ a 該当項目が3項目・・・・・・ b 該当項目が2項目・・・・・・ c 該当項目が1項目以下・・・・・・ d			

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

調査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準じる)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
			※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 [工場製作関係]						
			<input type="checkbox"/> ① 鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪ その他 理由： _____						
			<input type="checkbox"/> ① ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 支承の据付で、コンクリート面のチッピング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ その他 理由： _____						

ばらつきの評価

ばらつきが50%以下

ばらつきが80%以下

ばらつきが80%を越える

ばらつきで判断不可能

①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。
 ②評価対象項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()
 ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。

●判断基準				
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を越える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

調査項目	細別	工種	a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準じる)	<input type="checkbox"/> ① 表面に補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> ② 部材表面に傷及び錆が無い。 <input type="checkbox"/> ③ 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> ④ 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> ⑤ 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目が4項目以上..... a 該当項目が3項目..... b 該当項目が2項目..... c 該当項目が1項目以下..... d	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	砂防・治山構造物工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																												
			※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」																																		
			<input type="checkbox"/> ① コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> ② コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> ⑤ コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。 <input type="checkbox"/> ⑥ 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> ⑨ コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪ 施工面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑫ アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑬ ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑭ ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑮ その他 理由： _____					ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能																													
			●判断基準					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
			注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																		
			<table border="1"> <tr> <td>① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口をチェックを記入する。</td> </tr> <tr> <td>② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</td> </tr> <tr> <td>③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()</td> </tr> <tr> <td>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</td> </tr> </table>					① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口をチェックを記入する。	② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。	③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()	④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																										
① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口をチェックを記入する。																																					
② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。																																					
③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()																																					
④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																					

審査項目	細別	工種		a	b	c	d
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	砂防・治山構造物工事	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」		●判断基準 該当項目が5項目以上 a 該当項目が4項目 b 該当項目が3項目 c 該当項目が2項目以下 d	
				<input type="checkbox"/> ① コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> ② コンクリート構造物の湧りが良い。 <input type="checkbox"/> ③ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> ④ クラックが無い。 <input type="checkbox"/> ⑤ 漏水が無い。 <input type="checkbox"/> ⑥ 全体的な美観が良い。			

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																	
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	地すべり防止工事(集水井工事等)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 【共通】 <input type="checkbox"/> ① コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> ② コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のパイプレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> ⑤ コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。 <input type="checkbox"/> ⑥ 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> ⑨ アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪ ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑫ 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑬ その他 理由： _____					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																																	
			●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		60%以上75%未満	b	b'	c	c		60%未満	b'	c	c	c	<table border="1"> <tr> <td>① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。</td> </tr> <tr> <td>② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</td> </tr> <tr> <td>③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()</td> </tr> <tr> <td>④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</td> </tr> </table>		① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																						
	50%以下	80%以下	80%を超える																																							
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																					
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																					
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																					
	60%未満	b'	c	c	c																																					
① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。																																										
② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。																																										
③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()																																										
④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																										

審査項目	細別	工種		a	b	c	d
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	地すべり防止工事(集水井工事等)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 地山との取り合いが良い。 ② 天端、端部の仕上げが良い。 ③ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 ④ 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当項目が3項目以上 a 該当項目が2項目 b 該当項目が1項目 c 該当項目なし d		

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

調査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	舗装工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																												
			※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 【路床・路盤工関係】 <input type="checkbox"/> ① 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 路床及び路盤工のブルーローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ その他 理由： _____ 【アスファルト舗装工関係】 <input type="checkbox"/> ① アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ その他 理由： _____ 【コンクリート舗装工関係】 <input type="checkbox"/> ① コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適合しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 材料が分離しないようコンクリートを数均していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ その他 理由： _____							ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を越え																											
●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を越える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。										評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を越える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を越える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
<table border="1"> <tr> <td>①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の□にチェックを記入する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②評価対象項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。</td> <td></td> </tr> </table>										①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の□にチェックを記入する。		②評価対象項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。		③評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）		④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。																					
①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の□にチェックを記入する。																																					
②評価対象項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。																																					
③評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）																																					
④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。																																					

調査項目	細別	工種	a		b		c		d	
			優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		やや劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	舗装工事	<input type="checkbox"/> ① 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> ② 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> ③ 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> ④ 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> ⑤ 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> ⑥ 全体的な美観が良い。				該当項目が5項目以上・・・・・・ a 該当項目が4項目・・・・・・ b 該当項目が3項目・・・・・・ c 該当項目が2項目以下・・・・・・ d			

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

調査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	法面工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 【共通】 <input type="checkbox"/> ① 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。（特に法砕工、コンクリート又はモルタル吹付工関係） <input type="checkbox"/> ② 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締め固めを十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ その他 理由： _____ 【種子吹付工、密土吹付工、植生基材吹付工関係】 <input type="checkbox"/> ① 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ その他 理由： _____ 【コンクリート又はモルタル吹付工関係】 <input type="checkbox"/> ① 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 金網が破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ その他 理由： _____ 【現場打法砕工関係（プレキャスト法砕工含む）】 <input type="checkbox"/> ① 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② アンカーを設計図書とおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 枠内に空隙が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 層間にはく離が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ その他 理由： _____					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
			ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能	①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口をチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。					

●判断基準

	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。

調査項目	細別	工種	a		b		c		d	
			優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている		
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	法面工事	<input type="checkbox"/> 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 通りが良い。 <input type="checkbox"/> ② 植生、吹付等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> ③ 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> ④ 全体的な美観が良い。				●判断基準 該当項目が3項目以上 a 該当項目が2項目 b 該当項目が1項目 c 該当項目なし d			

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

調査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	基礎工事及び地盤改良工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 【杭関係（コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等）】 <input type="checkbox"/> ① 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 掘削深さ、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ ライナープレートの組み立てに当たり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪ 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑫ 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑬ その他 理由： _____					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																												
			【地盤改良関係】 <input type="checkbox"/> ① 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ その他 理由： _____							ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を越える																											
			●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を越える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を越える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を越える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
			①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口をチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（%）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。																																		

調査項目	細別	工種		a	b	c	d
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	基礎工事及び地盤改良工事	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 土工関係の仕上げが良い。 ② 通りが良い。 ③ 端部及び天端の仕上げが良い。 ④ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 ※地盤改良はc評価とする。	●判断基準 該当項目が3項目以上 a 該当項目が2項目 b 該当項目が1項目 c 該当項目なし d		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【土木】
(検査員)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																										
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	海岸工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																										
			※ ばらつきの判断は別紙-4 参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 運搬、打設、締め固めが、気象条件に適しており、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ コンクリートブロックの転置及び仮置にあたって、強度確認を行っている。 <input type="checkbox"/> ⑤ 転倒や崩壊等が無いようコンクリートブロックの仮置を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 捨石基礎の均し面を平坦に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 台風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ その他 理由：																																
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口チェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 ③評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。 </div>					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 </div>																											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															
			●判断基準 該項目が5項目以上・・・・・・ a 該項目が4項目・・・・・・ b 該項目が3項目・・・・・・ c 該項目が2項目以下・・・・・・ d																																
			注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																

審査項目	細別	工種		a	b	c	d
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	海岸工事	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① コンクリート構造物の表面状態が良い。 ② コンクリート構造物の通りが良い。 ③ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 ④ クラックが無い。 ⑤ 漏水が無い。 ⑥ 全体的な美観が良い。	●判断基準 該項目が5項目以上・・・・・・ a 該項目が4項目・・・・・・ b 該項目が3項目・・・・・・ c 該項目が2項目以下・・・・・・ d		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【 土 木 】
(検査員)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	コンクリート橋上部工事 (PC及びRCを対象)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。 <判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
			※ ばらつきの判断は別紙-4 参照。 「評価対象項目」				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		
			<input type="checkbox"/> ① コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> ② コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> ⑤ コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑫ スペースの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑬ プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑭ 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑮ PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑯ プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑰ コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑱ 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> ⑲ その他				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		
			理由: _____				ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能		
			①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口をチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該項目数()/評価対象項目数() ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。				●判断基準 該項目が5項目以上..... a 該項目が4項目..... b 該項目が3項目..... c 該項目が2項目以下..... d		
			評価値 90%以上 a a' b b' 75%以上90%未満 a' b b' b' 60%以上75%未満 b b' c c' 60%未満 b' c c c'				注: 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。		

審査項目	細別	工種	a		b		c		d	
			優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		やや劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	コンクリート橋上部工事 (PC及びRCを対象)	<input type="checkbox"/> 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> ② コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> ③ 天端及び端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> ④ 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> ⑤ クラックが無い。 <input type="checkbox"/> ⑥ 全体的な美観が良い。							

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	塗装工事 (工場塗装を除く)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																												
			※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② ケレンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ その他 理由：							ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能																											
			①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の□にチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数() ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。					●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を越える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を越える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を越える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

審査項目	細別	工種		a	b	c	d
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	塗装工事 (工場塗装を除く)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 塗装の均一性が良い。 ② 細部まできめ細かな施工がされている。 ③ 補修箇所が無い。 ④ ケレンの施工状況が良好である。 ⑤ 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当項目が4項目以上..... a 該当項目が3項目..... b 該当項目が2項目..... c 該当項目が1項目以下..... d		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【土木】
(検査員)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	トンネル工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																											
			※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> ② コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種類、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 設計図書に定められた岩区分（支保工パターン含む）の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪ 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑫ ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑬ 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑭ 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎが同一線上で施工していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑮ その他 理由： _____					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。																													
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口をチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 ③評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。 </div>																																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">●判断基準</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p>										●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

審査項目	細別	工種		a	b	c	d
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	トンネル工事	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① コンクリート構造物の表面状態が良い。 ② コンクリート構造物の通りが良い。 ③ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 ④ クラックが無い。 ⑤ 漏水が無い。 ⑥ 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当項目が5項目以上・・・・・・ a 該当項目が4項目・・・・・・ b 該当項目が3項目・・・・・・ c 該当項目が2項目以下・・・・・・ d		

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

調査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																														
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	植栽工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																																														
			※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ その他 理由： _____																																																				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を越える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を越える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">●判断基準</td> </tr> <tr> <td>ばらつきが50%以下</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>ばらつきが80%以下</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>ばらつきが80%を越える</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>ばらつきで判断不可能</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>		●判断基準		ばらつきが50%以下	<input type="checkbox"/>	ばらつきが80%以下	<input type="checkbox"/>	ばらつきが80%を越える	<input type="checkbox"/>	ばらつきで判断不可能	<input type="checkbox"/>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口チェックを記入する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()</td> </tr> <tr> <td colspan="2">④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</td> </tr> </table>		① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口チェックを記入する。		② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。		③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()		④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																																			
	50%以下	80%以下	80%を越える																																																				
90%以上	a	a'	b	b																																																			
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																																			
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																																			
60%未満	b'	c	c	c																																																			
●判断基準																																																							
ばらつきが50%以下	<input type="checkbox"/>																																																						
ばらつきが80%以下	<input type="checkbox"/>																																																						
ばらつきが80%を越える	<input type="checkbox"/>																																																						
ばらつきで判断不可能	<input type="checkbox"/>																																																						
① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口チェックを記入する。																																																							
② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。																																																							
③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()																																																							
④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。																																																							

調査項目	細別	工種		a	b	c	d
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	植栽工事	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 樹木の活着状況が良い。 ② 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 ③ 支柱の取り付けが堅固である。 ④ 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目が3項目以上..... a 該当項目が2項目..... b 該当項目が1項目..... c 該当項目なし..... d	

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

調査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	防護柵（網）工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 防護柵設置要綱等の規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 使用する材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ その他 理由： _____					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																														
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 </div>																																				
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（%）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。 </div>					<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p>				ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
		50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																		
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		

調査項目	細別	工種		a	b	c	d
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	防護柵（網）工事	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 通りが良い。 ② 端部処理が良い。 ③ 部材表面に傷及び錆が無い。 ④ 既設構造物等とのすりつけが良い。 ⑤ きめ細やかに施工されている。 ⑥ 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当項目が5項目以上・・・・・・ a 該当項目が4項目・・・・・・ b 該当項目が3項目・・・・・・ c 該当項目が2項目以下・・・・・・ d		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																										
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	標識工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																										
			※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 使用する材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ その他 理由： _____																																
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口チェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 ③評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。 </div>					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 </div>																											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b		75%以上90%未満	a'	b	b'		60%以上75%未満	b	b'	c		60%未満	b'	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
評価値	90%以上	a	a'	b																															
	75%以上90%未満	a'	b	b'																															
	60%以上75%未満	b	b'	c																															
	60%未満	b'	c	c																															
			●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・・・ a 該当項目が3項目・・・・・・ b 該当項目が2項目・・・・・・ c 該当項目が1項目以下・・・・・・ d																																

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	標識工事	<input type="checkbox"/> ① 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> ② 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> ③ 標識板の支柱に変色が無い。 <input type="checkbox"/> ④ 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 <input type="checkbox"/> ⑤ 全体的な美観が良い。			

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

調査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	区画線工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																														
			※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② ペイント式(常温式)区画線に使用するツタの使用量が、10%以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 区画線の施工にあたって設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 区画線を消去の場合、表示材（塗料）のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ その他 理由： _____					<input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能																																
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数() ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。 </div>					●判断基準 <table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b		75%以上90%未満	a'	b	b'		60%以上75%未満	b	b'	c		60%未満	b'	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
	50%以下	80%以下	80%を超える																																					
評価値	90%以上	a	a'	b																																				
	75%以上90%未満	a'	b	b'																																				
	60%以上75%未満	b	b'	c																																				
	60%未満	b'	c	c																																				

調査項目	細別	工種		a	b	c	d	
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	区画線工事	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 塗料の塗布が均一である。 ② 視認性が良い。 ③ 接着状態が良い。 ④ 施工前の清掃が入念に実施されている。 ⑤ 全体的な美観が良い。				●判断基準 該当項目が4項目以上..... a 該当項目が3項目..... b 該当項目が2項目..... c 該当項目が1項目以下..... d

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

調査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	電線共同溝工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ その他 理由： _____					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																												
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">●判断基準</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th>ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口チェックを記入する。 ② 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数() ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>							●判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c
●判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
	60%未満	b'	c	c	c																																

調査項目	細別	工種		a	b	c	d
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	電線共同溝工事	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 ② プラント(カバー)の蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 ③ 施工管理記録などから、不可視部分の出来映えの良さが伺える。 ④ 全体的な美観が良い。		該当項目が3項目以上 a 該当項目が2項目 b 該当項目が1項目 c 該当項目なし d	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	維持工事 (清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理等)	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 理由 _____ <input type="checkbox"/> ⑥ 理由 _____ <input type="checkbox"/> ⑦ 理由 _____ <input type="checkbox"/> ⑧ 理由 _____ ●判断基準 ※ 該当項目が6項目以上.....a ※ 該当項目が5項目.....a' ※ 該当項目が4項目.....b ※ 該当項目が3項目.....b' ※ 該当項目が2項目以下.....c				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	

考査項目	細別	工種		a	b	c	d	
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	維持工事 (清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理等)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 小構造物等にも注意が払われている。 ② きめ細かな施工がなされている。 ③ 既設構造物とのすりつけが良い。 ④ 全体的な美観が良い。				●判断基準 該当項目が3項目以上..... a 該当項目が2項目..... b 該当項目が1項目..... c 該当項目なし..... d

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【土木】
(検査員)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	<input type="checkbox"/> ① 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 理由 _____ <input type="checkbox"/> ⑥ 理由 _____ <input type="checkbox"/> ⑦ 理由 _____ <input type="checkbox"/> ⑧ 理由 _____					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
			●判断基準 ※ 該当項目が6項目以上・・・・・・・・a ※ 該当項目が5項目・・・・・・・・a' ※ 該当項目が4項目・・・・・・・・b ※ 該当項目が3項目・・・・・・・・b' ※ 該当項目が2項目以下・・・・・・・・c						

審査項目	細別	工種		a	b	c	d
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	修繕工事 (橋脚補強、耐震補強、落橋防止等)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 小構造物等にも注意が払われている。 ② きめ細かな施工がなされている。 ③ 既設構造物とのすりつけが良い。 ④ 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当項目が3項目以上・・・・・・ a 該当項目が2項目・・・・・・ b 該当項目が1項目・・・・・・ c 該当項目なし・・・・・・ d		

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【 土 木 】
(検査員)

調査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	ため池工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> ② 材料の品質規定証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> ③ 基礎処理施工要領及び盛立要領書に示された規定に従い適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> ④ 施工基面及び法面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> ⑤ 雨水による崩壊が起こらないように排水対策を実施した。 <input type="checkbox"/> ⑥ 気象条件が考慮した施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 鉄筋の組立、継ぎ手部、かぶり は工事図面に示されたとおりに施工している。 <input type="checkbox"/> ⑧ コンクリートの供試体が当該現場のものであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ その他 理由： _____				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																															
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">●判断基準</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を越える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p>				●判断基準					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を越える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を越える </div>
●判断基準																																								
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
	50%以下	80%以下	80%を越える																																					
90%以上	a	a'	b	b																																				
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																				
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																				
60%未満	b'	c	c	c																																				

調査項目	細別	工種	a		b		c		d	
			優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		やや劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	ため池工事	<input type="checkbox"/> 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 土工の仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> ② 土工の構造物等へのすりつけがよい。 <input type="checkbox"/> ③ コンクリート構造物の肌がよい。 <input type="checkbox"/> ④ コンクリート構造物の通りがよい。 <input type="checkbox"/> ⑤ 天端仕上げ、端部仕上げ等がよい。 <input type="checkbox"/> ⑥ 漏水がない。 <input type="checkbox"/> ⑦ 全体的な美観が良い。		●判断基準 該項目が6項目以上・・・・・・ a 該項目が5項目・・・・・・ b 該項目が4項目・・・・・・ c 該項目が3項目以下・・・・・・ d					

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【土木】
(検査員)

調査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																										
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	ほ場整備工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> ② 材料の品質規定証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> ③ 地区内の地表水及び地下水を排除してドライの状態に施工している。 <input type="checkbox"/> ④ 濁り等の防止に十分留意して施工している。 <input type="checkbox"/> ⑤ 石礫、根株等の除去は仕様書に定めたとおり実施している。 <input type="checkbox"/> ⑥ 表土剥ぎ取り、基盤切盛、畦畔築立、基盤整地、表土整地は、仕様書及び設計図書により施工されている。 <input type="checkbox"/> ⑦ 進入路について耕作に支障がないように施工されている。 <input type="checkbox"/> ⑧ 暗渠排水工は仕様書及び設計図書により施工されている。 <input type="checkbox"/> ⑨ 用・排水路の縦断勾配等については、ほ場面標高等を考慮して施工されている。 <input type="checkbox"/> ⑩ 用・排水路の施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> ⑪ 用・排水路の法面の通りがよい。 <input type="checkbox"/> ⑫ 構造物側面の埋め戻しについては、仕様書に示す条件により締め固めが実施されている。 <input type="checkbox"/> ⑬ 護岸等の根入れが図面どおり実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑭ 二次製品との取り付け部コンクリート構造物にきめ細かな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> ⑮ 二次製品の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑯ その他 理由： _____					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																										
			● ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能	①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（%）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。																															
			● 判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															

調査項目	細別	工種		a	b	c	d
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	ほ場整備工事	<input type="checkbox"/> ① 均平度がよい。 <input type="checkbox"/> ② 土工の仕上げがよい。 <input type="checkbox"/> ③ 土工の通りがよい。 <input type="checkbox"/> ④ 土工の構造物等へのすりつけがよい。 <input type="checkbox"/> ⑤ 用・排水路の通りがよい。 <input type="checkbox"/> ⑥ コンクリート構造物の通りがよい。 <input type="checkbox"/> ⑦ 全体的な取扱いがしやすい。	● 判断基準 該当項目が6項目以上 a 該当項目が5項目 b 該当項目が4項目 c 該当項目が3項目以下 d			

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

調査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	管水路工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> ② 材料の品質規定証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> ③ 中心線の通りがよい。 <input type="checkbox"/> ④ 仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。 <input type="checkbox"/> ⑤ 管の両側面が均等に埋め戻されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 地盤面、基礎面に不陸が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 管の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> ⑨ その他 理由： _____ ●判断基準 <table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9.0%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>7.5%以上9.0%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>6.0%以上7.5%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>6.0%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。					評価値	ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		9.0%以上	a	a'	b	b'	7.5%以上9.0%未満	a'	b	b'	b'	6.0%以上7.5%未満	b	b'	c	c	6.0%未満	b'	c	c	c	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
			評価値	ばらつきで判断可能					ばらつきで判断不可能																														
50%以下	80%以下	80%を超える																																					
9.0%以上	a	a'	b	b'																																			
7.5%以上9.0%未満	a'	b	b'	b'																																			
6.0%以上7.5%未満	b	b'	c	c																																			
6.0%未満	b'	c	c	c																																			
			ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。 </div>																															

調査項目	細別	工種		a	b	c	d
				優れている			
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	管水路工事	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 管の通りがよい。 ② 付帯コンクリート構造物の肌がよい。 ③ 付帯コンクリート構造物の通りがよい。 ④ 付帯コンクリート構造物にクラックがない。 ⑤ 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当項目が4項目以上 a 該当項目が3項目 b 該当項目が2項目 c 該当項目が1項目以下 d		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【 土 木 】
(検査員)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	港湾工事 (海岸築造工事)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつき判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が「修補指示」を行った。
			【共通】 <input type="checkbox"/> ① 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 材料等の品質に異常値が想定されている場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 一般船に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。 【浚渫・床掘関係】 <input type="checkbox"/> ① 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 浚渫工又は床掘工について仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 潮位及び潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 土質改良を適切に行っていることが記録で確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 土捨場土量に制約がある場合、適切な土量で、許容範囲に精度良く平坦に仕上がっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 土捨場に制約がなく、深掘しても周辺構造物に影響がない場合、今後の埋没も考慮し、深く平坦に仕上がっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 浚渫・床掘時に濁り防止に十分注意して、漏出がないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 浚渫工又は床掘工において、作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況を考慮して、効果的作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況を考慮して、土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ 床掘工において、底面、法面の施工で出来形の許容範囲を超えた場合、置換材と同等以上の材料で埋戻しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪ 置換材の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑫ 砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされていることが確認できる。 【地盤改良関係】 <input type="checkbox"/> ① 改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 浮泥を巻き込まないよう置換材を投入していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ サドドレーン・砕石ドレーン・サドコバクツヨガバム及びビッドコバクツヨガバムが連続した一様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ A'-B'-ドレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに、打設を完了したバーバードレーンの頭部が保護され、排水効果が維持されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 深層混合処理の打込記録等から、仕様書に定められている事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 前記以外の改良方法について、記録から仕様書に定められている事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 盛上り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 捨石、被覆石等の石材は、扁平細長でなく、風化凍壊の恐れがないものが使用されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 施工面から浮泥等の品質の害となるものを除去してから施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ マットの施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪ 捨石、被覆及び根固め石の施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。 【マット、捨石及び均し関係】 <input type="checkbox"/> ① 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。 <input type="checkbox"/> ② マットが破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 裏込めが既設構造物及び砂防目地板の破損がなく施工され、記録により確認できる。 【本体：杭及び矢板、控工関係】 <input type="checkbox"/> ① 鋼材の規格・数量がミルシート等(現物照合を含む)で確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 鋼材の保管にあたり、変形及び塗覆面に損傷を与えないよう、適切に処置されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 杭及び矢板に損傷及び補修痕がなく施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 腹起し材を全長にわたり規定の水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ タイワイヤーは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。 【本体：ケーソン掘付、ブロック掘付関係】 <input type="checkbox"/> ① ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し、仮置作業が所定の位置に異常なく行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② ケーソン掘付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、掘付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。						

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【土木】
(検査員)

調査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	港湾工事 (海岸築造工事)	<input type="checkbox"/> ③ ケーソン据付等及び中詰においてケーソン及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ コクリートブロック据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ ブロック据付等においてブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ ケーソンえい航に先立ち、気象・海象を十分調査し、適切な時期を選定されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ ケーソンえい航に先立ち、上蓋、安全ネット又は吊り足場等を設置し、墜落防止の措置を講じていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ ケーソン注水時の隔壁の水頭差が1m以内になるように管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ ケーソン仮置き、据付の時期について、仕様書を満足するよう実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ 中詰において海上漏出がないように施工されていることが確認できる。 【コンクリート関係】 <input type="checkbox"/> ① 設計図書に基づくコクリートの配合試験及び現場練りコクリートの場合は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度、W/C、最大骨材粒径、塩基総量等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> ② コクリート打設時の必要な供試体を探取し、強度・スラック・空気量等を試験した結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ コクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種が仕様書に定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> ⑤ コクリート強度を管理し必要な強度に達した後に型枠、支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 鉄筋の規格が品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ コクリート打設までさび、どろ、油等の有害物質が鉄筋に付着しないよう保管管理がされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 鉄筋の組立・加工が設計図書を満足したものであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪ スリッパを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑫ コクリートの養生が、仕様書に定められた通り行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑬ 有害なクラックがない。 【全体】 <input type="checkbox"/> ① その他 （理由： _____）							
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える </div>							
			①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口チェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）							
			●判断基準 該項目が5項目以上・・・・・・ a 該項目が4項目・・・・・・ b 該項目が3項目・・・・・・ c 該項目が2項目以下・・・・・・ d							

調査項目	細別	工種		a	b	c	d	
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	港湾工事 (海岸築造工事)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 構造物の通りがよい。 ② 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 ③ 構造物等の表面及び端部の仕上げがよい。 ④ きめ細やかな施工がなされている。 ⑤ 全体的な美観が良い。 ⑥ クラックがない（コンクリート工事が含まれる場合）	●判断基準 該項目が5項目以上・・・・・・ a 該項目が4項目・・・・・・ b 該項目が3項目・・・・・・ c 該項目が2項目以下・・・・・・ d			

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

調査項目	細別	工種						d	e
			a	a'	b	b'	c		
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	港湾工事（浚渫工事）	<p>「評価対象項目」</p> <p>【共通】</p> <p><input type="checkbox"/> ① 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ② 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 材料等の品質に異常値が想定されている場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑥ 一般船に十分注意して施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑦ 作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。</p> <p>【浚渫・床掘関係】</p> <p><input type="checkbox"/> ① 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ② 浚渫工又は床掘工について仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 潮位及び潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 土質改良を適切に行っていることが記録で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 土捨場土量に制約がある場合、適切な土量で、許容範囲に精度良く平坦に仕上がっていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑥ 土捨て場に制約がなく、深堀しても周辺構造物に影響がない場合、今後の埋没も考慮し、深く平坦に仕上がっていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑦ 浚渫・床掘時に濁り防止に十分注意して、漏出がないように施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑧ 浚渫工又は床掘工において、作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況を考慮して、効果的作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑨ 土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況を考慮して、土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑩ 床掘工において、底面、法面の施工で出来形の許容範囲を超えた場合、置換材と同等以上の材料で埋戻しを行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑪ 置換材の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑫ 砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされていることが確認できる。</p> <p>【全体】</p> <p><input type="checkbox"/> ① その他 (理由：_____)</p>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
			<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・ a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・ a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・ b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・ b'</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・・・ c</p>						

調査項目	細別	工種			c	d			
			a	b					
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている			
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	港湾工事（浚渫工事）	<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> ① 規定された水深・勾配又は改良深度等が確保されている。</p> <p><input type="checkbox"/> ② 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 施工後の表面及び底面等の全体的な仕上げがよい。</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 浚渫及び盛り等の土砂が適切に処理されている。</p>					<p>●判断基準</p> <p>該当項目が3項目以上・・・・・・・・ a</p> <p>該当項目が2項目・・・・・・・・ b</p> <p>該当項目が1項目・・・・・・・・ c</p> <p>該当項目なし・・・・・・・・ d</p>	

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

調査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																										
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	下水道工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 材料の品質、形状が設計図書との適切性が確認でき、証明書が整理されている。 <input type="checkbox"/> ② 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練が行われており、適切なコンクリートの規格が確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ コンクリート打設時の必要な供試体を採用し、強度・スランプ空気量等を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> ④ コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等適切に行っている。 <input type="checkbox"/> ⑥ 締固めを適切な条件で施工しており、管の周辺に空隙が生じていない。 <input type="checkbox"/> ⑦ アスファルト混合物の温度管理が、プラント出荷、現場到着、舗装時等で整理されている。 <input type="checkbox"/> ⑧ 測量及び測量結果を毎日整理し、それに基づいた施工が行われた。 <input type="checkbox"/> ⑨ 常に切羽及び地表面の状態を観察して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ 鋼材の員数照合がミルシート等（現場照合を含む）で確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪ 溶接作業に当たり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> ⑫ 二次コンクリート打設時に、付属物除去のため十分な水洗清掃を行っている。 <input type="checkbox"/> ⑬ その他 （理由： _____）					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																										
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 </div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="4">●判断基準</th> </tr> <tr> <th colspan="4">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th></th> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> <th>ばらつきで判断不可能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p>	評価値	●判断基準				ばらつきで判断可能					50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'
評価値	●判断基準																																		
	ばらつきで判断可能																																		
	50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能																															
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															
			①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口チェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（%）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。																																

調査項目	細別	工種	a		b		c		d	
			優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている		
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	下水道工事	<input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 通りがよい。 <input type="checkbox"/> ② 漏水がない。 <input type="checkbox"/> ③ クラックがない。 <input type="checkbox"/> ④ マンホール天端と路面のすりつけがよい。 <input type="checkbox"/> ⑤ 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/>	●判断基準 該当項目が4項目以上 a 該当項目が3項目 b 該当項目が2項目 c 該当項目が1項目以下 d				

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

調査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	コンクリート二次製品	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
			※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 【共通】 <input type="checkbox"/> ① 材料の品質が証明書又は試験成績書で確認出来る。 <input type="checkbox"/> ② 設計図書で定められた条件が満足されていることが、書類で確認出来る。 <input type="checkbox"/> ③ 施工基面が平滑に仕上げられ、構造物の基礎材料の材質及び締固め等が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ その他 (理由: _____)				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（ % ）= 該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。 </div>	
【水路等据付工】 <input type="checkbox"/> ① 継目部の施工にあたって、付着、水密性を保ち段差がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 側溝蓋、グレーチング等の附帯構造物がゆるみがなく固定されている。 <input type="checkbox"/> ③ その他 (理由: _____)										
【擁壁据付工】 <input type="checkbox"/> ① 支持地盤の地耐力が平板載荷試験等で確認されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 目地施工が設計図書に適合し、接合面の付着・水密性が確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 調整コンクリートの材質及び施工方法が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ その他 (理由: _____)										
【(大型)ブロック積(張)、石積(張)工】 <input type="checkbox"/> ① 支持地盤の地耐力が平板載荷試験等で確認されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 裏込材、胴込めコンクリートの充填または締固めが充分で、空隙が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 目地の処理及び施工間隔、また、水抜きパイプの配置及び吸出し防止対策が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ その他 (理由: _____)										
【補強土壁工等】 <input type="checkbox"/> ① 設計図書で定められたタイバー、ストリップ等の補強材料の設置位置、延長等が資料により確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 盛土材料の土質試験を行い、締固めを適切な条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 設計図書で定められた暗渠排水管等の排水施設の設置位置、断面、延長等が、資料により確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 壁面に接するフィルター材(砕石等)の品質、施工幅及び締固め方法が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ その他 (理由: _____)										

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。

調査項目	細別	工種	a		b	c		d	
			優れている	やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている		
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	コンクリート二次製品	<input type="checkbox"/> 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 構造物に有害なひび割れや欠損等がない。 <input type="checkbox"/> ② 構造物の通りがよい。 <input type="checkbox"/> ③ 天端仕上げ、端部仕上げ等がよい。 <input type="checkbox"/> ④ 既設構造物とのすりつけがよい。 <input type="checkbox"/> ⑤ 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・・・ a 該当項目が3項目・・・・・・ b 該当項目が2項目・・・・・・ c 該当項目が1項目以下・・・・・・ d				

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

審査項目	細別	工種		a	a'	b	b'	c	d	e		
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている		
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	浚渫工事	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 理由 _____ ② 理由 _____ ③ 理由 _____ ④ 理由 _____ ⑤ 理由 _____ ⑥ 理由 _____ ⑦ 理由 _____ ⑧ 理由 _____							<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
				●判断基準 評価値が90%以上..... a 評価値が80%以上90%未満... a' 評価値が70%以上80%未満... b 評価値が60%以上70%未満... b' 評価値が60%未満..... c								
				①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口チェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数() ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。								

審査項目	細別	工種		a	b	c	d
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	浚渫工事	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 細心の注意が払われて施工している。 ② きめ細かな施工がなされている。 ③ 現河床とのすりつけが良い。 ④ 全体的な美観が良い。		●判断基準 該当項目が3項目以上..... a 該当項目が2項目..... b 該当項目が1項目..... c 該当項目なし..... d	

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

調査項目	細別	工種	評価項目					d	e
			a	a'	b	b'	c		
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	漁場工事 (魚礁)	<p>「評価対象項目」</p> <p>【共通】</p> <p><input type="checkbox"/> ① コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ② コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑥ コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑦ 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑧ コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑨ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑩ 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑪ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑫ スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑬ 有害なクラックが無い。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑭ その他</p> <p>理由： _____</p> <p>【現場打ちコンクリートブロック】</p> <p><input type="checkbox"/> ① コンクリートブロックの転置、仮置に際し、強度確認を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> ② コンクリートブロックの仮置は、転倒、崩壊等の恐れがない。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ その他</p> <p>理由： _____</p> <p>【組立部材 (コンクリート製、鋼製、FRP製等)】</p> <p><input type="checkbox"/> ① 材料等の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> ② 材料等において、共通仕様書等の記載の規格に従い適切に施工している。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 材料の工作及び部材組立が適性になされている。</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 溶接材料の選定及び母材の清掃が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 開先の確認及び母材の清掃が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑥ 溶接作業にあたり作業員の技量確認を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑦ 溶接施工が作業条件に応じて適性になされている。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑧ 溶接外観検査で基準を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑨ ボルトの締め付けが適切に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑩ その他</p> <p>理由： _____</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>
			<p>①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口をチェックを記入する。</p> <p>②評価対象項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数()</p> <p>④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。</p>						

●判断基準
 評価値が90%以上..... a
 評価値が80%以上90%未満.. a'
 評価値が70%以上80%未満.. b
 評価値が60%以上70%未満.. b'
 評価値が60%未満..... c

調査項目	細別	工種	評価項目					d	e
			a	b	c	d			
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	漁場工事 (魚礁)	<p>「評価対象項目」</p> <p>【共通】</p> <p><input type="checkbox"/> ① 全体的な美観が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> ② バランスよく配置されている。</p> <p>【現場打ちコンクリートブロック】</p> <p><input type="checkbox"/> ① 構造物の肌が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> ② 構造物の通りが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 構造物にクラックが無い。</p> <p>【組立部材 (コンクリート製、鋼製、FRP製等)】</p> <p><input type="checkbox"/> ① 部材表面に傷がない。</p> <p><input type="checkbox"/> ② 補修箇所がない。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 溶接に均一性がある。</p>					<p>●判断基準 該当項目が5項目以上..... a 該当項目が4項目..... b 該当項目が3項目..... c 該当項目が2項目以下..... d</p>	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

審査項目	細別	工種	a		b		c		d		e				
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。				
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	漁場工事 (増殖場)	<p>「評価対象項目」</p> <p>【共通】</p> <p><input type="checkbox"/> ① 材料の規格・品質が試験成績表等（現物照合含む）で確認できる。（JISA503、5006）</p> <p><input type="checkbox"/> ② 施工計画書に定められた計画により管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 特記仕様書に定められた施工上の注意事項が守られている。</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 測量結果をその都度整理し、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤ 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑥ 不可視部分の品質管理記録等が適性である。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑦ その他</p> <p>理由： _____</p>									<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	
			<p>①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口をチェックを記入する。</p> <p>②評価対象項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。</p> <p>③評価値（ ％ ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ）</p> <p>④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C 評価とする。</p>									<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・ a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・ a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・ b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・ b'</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・ c</p>			

審査項目	細別	工種	a		b		c		d				
			優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている					
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	漁場工事 (増殖場)	<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> ① 計画範囲にむらなく分布している。</p> <p><input type="checkbox"/> ② 凹凸がない。</p>									<p>●判断基準</p> <p>該当項目が2項目・・・・・・ b</p> <p>該当項目が1項目・・・・・・ c</p> <p>該当項目なし・・・・・・ d</p>	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

審査項目	細別	工種		a	a'	b	b'	c	d	e																								
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	その他工事	<input type="checkbox"/> <A> <input type="checkbox"/>	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																								
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																							
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 理由 _____ ② 理由 _____ ③ 理由 _____ ④ 理由 _____ ⑤ 理由 _____ ⑥ 理由 _____ ⑦ 理由 _____ ⑧ 理由 _____ <A> 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事 ① 評価項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 評価値が90％以上・・・・・・ a ② 評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） 評価値が80％以上90％未満・・ a' ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。 評価値が70％以上80％未満・・ b 評価値が60％以上70％未満・・ b' 評価値が60％未満・・・・・・ c 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事 ① 評価項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 ② 評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。																														
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50％以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80％以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80％を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 </div>			<table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50％以下</th> <th>80％以下</th> <th>80％を越える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90％以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75％以上90％未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60％以上75％未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60％未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50％以下	80％以下	80％を越える	90％以上	a	a'	b	b	75％以上90％未満	a'	b	b'	b'	60％以上75％未満	b	b'	c	c	60％未満	b'	c	c	c	●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・・・ a 該当項目が3項目・・・・・・ b 該当項目が2項目・・・・・・ c 該当項目が1項目以下・・・・・・ d	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																														
	50％以下	80％以下	80％を越える																															
90％以上	a	a'	b	b																														
75％以上90％未満	a'	b	b'	b'																														
60％以上75％未満	b	b'	c	c																														
60％未満	b'	c	c	c																														

審査項目	細別	工種		a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	その他工事	<input type="checkbox"/>	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 理由 _____ ② 理由 _____ ③ 理由 _____ ④ 理由 _____ ⑤ 理由 _____ ※該当工種からの審査項目で審査し、最大審査項目は5項目とする。		●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・・・ a 該当項目が3項目・・・・・・ b 該当項目が2項目・・・・・・ c 該当項目が1項目以下・・・・・・ d	

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

調査項目	細別	工種		a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	その他工 法面工事 (ノンフレーム工)	<input type="checkbox"/> <A>	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
			<input type="checkbox"/> 	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
			<input type="checkbox"/> ①	「評価対象項目」 ① 理由：仕様書等に基づき品質確保のための詳細な施工計画書が作成されている。 ② 理由：各部材の規格・品質がミルシート等により確認でき、資料が整備されている。 ③ 理由：アンカー(補強材)及びワイヤローフが設計どおりに施工されているか確認できる。 ④ 理由：ワイヤローフ、ボルト等の締め付けが確認でき資料が整備されている。 ⑤ 理由：アンカー(補強材)の引張り試験が確実に実施され試験値が適正であることが確認できる。 ⑥ 理由：不可視部分の品質管理記録等が適正である。 ⑦ 理由 ⑧ 理由						
<input type="checkbox"/> ②	<A> 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事 ① 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 評価値が90%以上・・・・・・ a ② 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() 評価値が80%以上90%未満・・ a' ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合 C評価とする。 評価値が70%以上80%未満・・ b 評価値が60%以上70%未満・・ b' 評価値が60%未満・・・・・・ c									
<input type="checkbox"/> ③	 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事 ① 評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ② 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合 C評価とする。									
<input type="checkbox"/> ④	ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を越える									
<input type="checkbox"/> ⑤	注) 試験結果の採点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、<A>を使用する。									

調査項目	細別	工種		a	b	c	d		
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	その他工 法面工事 (ノンフレーム工)	<input type="checkbox"/>	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている		
			<input type="checkbox"/> ①	「評価対象項目」 ① 理由：部材表面に傷、錆びがない。 ② 理由：部材の連結、かみ合わせがよい。 ③ 理由：地山との接着状態がよい。 ④ 理由：立木等の環境にきめ細かい配慮がなされている。 ⑤ 理由：仕上がり状態が良く全体的に美観がよい。 ※該当工種からの調査項目で調査し、最大調査項目は5項目とする。					
			<input type="checkbox"/> ②	●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・・・ a 該当項目が3項目・・・・・・ b 該当項目が2項目・・・・・・ c 該当項目が1項目以下・・・・・・ d					

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

調査項目	細別	工種		a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	その他工事 アンカー工	<input type="checkbox"/> <A>	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
			<input type="checkbox"/> 	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 理由：仕様書等に基づき品質確保のための詳細な施工計画書が作成されている。 ② 理由：各部材の規格・品質がミルシート等により確認でき、資料が整理されている。 ③ 理由：アンカーが設計どおりに施工されているのが確認できる。 ④ 理由：グラウト材の強度が規格値を満足しばらつきが少ない。 ⑤ 理由：アンカーの品質保証確認試験が確認でき試験値を満足している。 ⑥ 理由：不可視部分の品質管理記録等が適正である。 ⑦ 理由 ⑧ 理由							
				<A> 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事 ① 評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 評価値が90%以上・・・・・・ a ② 評価値（ % ）= 該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） 評価値が80%以上90%未満・・ a' ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合 C評価とする。 評価値が70%以上80%未満・・ b 評価値が60%以上70%未満・・ b' 評価値が60%未満・・・・・・ c							
				 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事 ① 評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ② 評価値（ % ）= 該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合 C評価とする。							
				ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を越える							
				注）試験結果の採点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、<A>を使用する。							

調査項目	細別	工種		a	b	c	d		
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	その他工事 アンカー工	<input type="checkbox"/> <A>	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている		
			<input type="checkbox"/> 	「評価対象項目」 ① 理由：通りがよい。 ② 理由：アンカー定着体が設計値と同方向に均一に向いている。 ③ 理由：地山との接着状態がよい。 ④ 理由：仕上がり状態が良く全体的に美観がよい。 ⑤ 理由					
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	※該当工種からの調査項目で調査し、最大調査項目は5項目とする。					
				●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・・・ a 該当項目が3項目・・・・・・ b 該当項目が2項目・・・・・・ c 該当項目が1項目以下・・・・・・ d					

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

調査項目	細別	工種		a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	その他工事 地すべり防止工事 (抑止工)	<input type="checkbox"/> <A>	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている	
			<input type="checkbox"/> 	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 理由：仕様書等に基づき品質確保のための詳細な施工計画書が作成されている。 ② 理由：鋼管杭の規格がミルシートで確認できる。 ③ 理由：材料の検収・保管が適切に行われているのが確認できる。 ④ 理由：鋼管継手部の溶接が良好であることが資料等で確認できる。 ⑤ 理由：鋼管杭が設計のとおり配置されている。 ⑥ 理由：鋼管杭の鉛直度が資料、写真等で確認できる。 ⑦ 理由 ⑧ 理由							
				<A> 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事 ① 評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 評価値が90%以上・・・・・・ a ② 評価値（ % ）= 該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） 評価値が80%以上90%未満・・ a' ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合 C評価とする。 評価値が70%以上80%未満・・ b 評価値が60%以上70%未満・・ b' 評価値が60%未満・・・・・・ c							
				 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事 ① 評価項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ② 評価値（ % ）= 該当項目数（ ） / 評価対象項目数（ ） ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合 C評価とする。							
				ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を越える							
				注）試験結果の採点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、<A>を使用する。							

評価値	ばらつきで判断可能			
	50%以下	80%以下	80%を越える	
90%以上	a	a'	b	
75%以上90%未満	a'	b	b'	
60%以上75%未満	b	b'	c	
60%未満	b'	c	c	

調査項目	細別	工種		a	b	c	d			
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	その他工事 地すべり防止工事 (抑止工)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている			
				「評価対象項目」 ① 理由：杭の通りが良い。 ② 理由：杭が削孔径の中心にある。 ③ 理由：継手部溶接の仕上がりが良好である。 ④ 理由：杭天端の仕上げが良い。 ⑤ 理由						
				※該当工種からの調査項目で調査し、最大調査項目は5項目とする。						
				●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・・・ a 該当項目が3項目・・・・・・ b 該当項目が2項目・・・・・・ c 該当項目が1項目以下・・・・・・ d						

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

調査項目	細別	工種		a	a'	b	b'	c	d	e																				
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	その他工事 地すべり防止工事 (集・排水ボーリング工)	<input type="checkbox"/> <A>	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																				
			<input type="checkbox"/> 	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																				
			<input type="checkbox"/> 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 理由：集・排水ボーリング工の方向、角度が適正となるように施工上の配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> ② 理由：材料の検収・保管が適切に行われているのが資料や写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 理由：スライムの状態や削孔速度により、土管の把握や湧水量等が、資料や写真等で管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 理由：スライムの処理が適切に実施されているのが資料や写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 理由：保孔管からの漏水を防止するような工夫が行われている。 <input type="checkbox"/> ⑥ 理由 <input type="checkbox"/> ⑦ 理由 <input type="checkbox"/> ⑧ 理由	<A> 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事 ① 評価項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 評価値が90％以上・・・・・・ a ② 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） 評価値が80％以上90％未満・・ a' ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合 C評価とする。 評価値が70％以上80％未満・・ b 評価値が60％以上70％未満・・ b' 評価値が60％未満・・・・・・ c																										
			<input type="checkbox"/> 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事 ① 評価項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 ② 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合 C評価とする。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th>50％以下</th> <th>80％以下</th> <th>80％を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90％以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75％以上90％未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60％以上75％未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60％未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			評価値	ばらつきで判断可能			50％以下	80％以下	80％を超える	90％以上	a	a'	b	75％以上90％未満	a'	b	b'	60％以上75％未満	b	b'	c	60％未満	b'	c	c	
評価値	ばらつきで判断可能																													
	50％以下	80％以下	80％を超える																											
90％以上	a	a'	b																											
75％以上90％未満	a'	b	b'																											
60％以上75％未満	b	b'	c																											
60％未満	b'	c	c																											
			ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50％以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80％以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80％を超える																											
			注）試験結果の採点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は、<A>を使用する。																											

調査項目	細別	工種		a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	その他工事 地すべり防止工事 (集・排水ボーリング工)	<input type="checkbox"/>	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
			<input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 理由：地山との取り合いがよい。 ② 理由：施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 ③ 理由：孔口の位置が水平に湧り先端の仕上がりがよい。 ④ 理由：全体的な美観が良い。 ⑤ 理由			
				※該当工種からの調査項目で調査し、最大調査項目は5項目とする。		●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・・・ a 該当項目が3項目・・・・・・ b 該当項目が2項目・・・・・・ c 該当項目が1項目以下・・・・・・ d	

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

【土木】
(検査員)

調査項目	細別	工種		a	a'	b	b'	c	d	e																			
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	その他工事 残土処分	<A> <input type="checkbox"/>	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている																			
			 <input type="checkbox"/>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																			
			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 理由：雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施しているなど、天候に留意して施工していることが確認できる。 ② 理由：切取面を丁寧に施工していることが確認できる。 ③ 理由：汚濁・流出対策及び防塵対策等が適切に行われている。 ④ 理由：搬出（処分）土量の管理が適切に行われている。 ⑤ 理由：伐開除根・除草作業及び処分が適切に行われていることが確認できる。 ⑥ 理由 ⑦ 理由 ⑧ 理由	<A> 対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事 ① 評価項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 評価値が90％以上・・・・・・ a ② 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） 評価値が80％以上90％未満・・ a' ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合 C評価とする。 評価値が70％以上80％未満・・ b 評価値が60％以上70％未満・・ b' 評価値が60％未満・・・・・・ c																								
 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事 ① 評価項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 ② 評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合 C評価とする。	●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50％以下</th> <th>80％以下</th> <th>80％を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90％以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75％以上90％未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60％以上75％未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60％未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。	評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50％以下	80％以下	80％を超える		90％以上	a	a'	b	b	75％以上90％未満	a'	b	b'	b'	60％以上75％未満	b	b'	c	c	60％未満	b'	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																									
	50％以下	80％以下	80％を超える																										
90％以上	a	a'	b	b																									
75％以上90％未満	a'	b	b'	b'																									
60％以上75％未満	b	b'	c	c																									
60％未満	b'	c	c	c																									

調査項目	細別	工種		a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	その他工事 残土処分	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
				「評価対象項目」 ① 理由：撤去範囲が適切に施工された。 ② 理由：規定された高さが確保されている。 ③ 理由：端部処理がよい。 ④ 理由：現場復旧及び補修等が適切に行われている。 ⑤ 理由：全般的な美観が良い。 ※該当工種からの調査項目で調査し、最大調査項目は5項目とする。			
				●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・・・ a 該当項目が3項目・・・・・・ b 該当項目が2項目・・・・・・ c 該当項目が1項目以下・・・・・・ d			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

【 土 木 】
(検査員)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	堰・水門等工事 (工場製作含む)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																											
			※ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 鋼材の負数照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認されている。 <input type="checkbox"/> ② 主要部材の板取は、主たる応力の方向と圧延方向と一致しており資料も整備されている。 <input type="checkbox"/> ③ 主要部材の切断は自動ガス切断で行っている。また、切断面の品質が規定を満足している。 <input type="checkbox"/> ④ 鋼材の表面粗さが規定値以下である。 <input type="checkbox"/> ⑤ 主要部材の自由縁が規定通り面取されている。 <input type="checkbox"/> ⑥ 主要部材の曲げ加工が規定どおり行われている。 <input type="checkbox"/> ⑦ 材片組合せ精度が規定値内である。 <input type="checkbox"/> ⑧ 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む) <input type="checkbox"/> ⑨ 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を行っている。 <input type="checkbox"/> ⑩ 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪ その他 理由： _____				ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能																														
			●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
			①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にてチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数() ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。																																		

考査項目	細別	工種		a	b	c	d
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	堰・水門等工事 (工場製作含む)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 表面に補修箇所がない。 ② 部材表面に傷、錆がない。 ③ 溶接に均一性がある。 ④ 塗装に均一性がある。 ⑤ 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当項目が4項目以上..... a 該当項目が3項目..... b 該当項目が2項目..... c 該当項目が1項目以下..... d		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																	
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない																																			
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	植栽工事・公園施設工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																																
			※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 【植栽工事】 <input type="checkbox"/> ① 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 施工完了後、余刺枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ 添木をくらつきがないよう設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ その他 理由： _____ 【土工工事】 <input type="checkbox"/> ① 適切な施工条件のもとに施工している。 <input type="checkbox"/> ② 構造物周辺の締固めの処理を適正に行なっている。 <input type="checkbox"/> ③ その他 理由： _____ 【舗装工事】 <input type="checkbox"/> ① アスファルト混合物の温度管理が適切に整理・記録されている。 <input type="checkbox"/> ② As及びConの運搬、舗設、養生等が適切に行なわれている。（施工条件・気象条件等） <input type="checkbox"/> ③ 舗装目地が適正に配置されている。 <input type="checkbox"/> ④ 表面勾配が適正に取れており、表面に滞水がない。 <input type="checkbox"/> ⑤ その他 理由： _____ 【休養施設・遊戯施設・棚・照明・Con製品等据付工事】 <input type="checkbox"/> ① 部材の加工組立及び取り付けが適正である。 <input type="checkbox"/> ② 塗装面の仕上りが良好で、膜厚が均等である。 <input type="checkbox"/> ③ 構造物と計画地盤のすりつけが適切に行なわれている。 <input type="checkbox"/> ④ その他 理由： _____ 【排水施設工事】 <input type="checkbox"/> ① 管業において屈曲や沈下が無い。 <input type="checkbox"/> ② 連結部（管口）の目地の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> ③ 適切な勾配により排水が良く、また滞水もない。 <input type="checkbox"/> ④ 適正な締固めにより構造物周辺に沈下がみられない。 <input type="checkbox"/> ⑤ その他 理由： _____ 【コンクリート構造物工事】 <input type="checkbox"/> ① コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② コンクリート強度が適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> ③ コンクリートの運搬時間、打設高さおよび養生が適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> ④ スパースターの材質が適正であり、適切な配置で鉄筋のかぶり確保している。 <input type="checkbox"/> ⑤ その他 理由： _____					ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能		①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口をチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">●判断基準</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th>ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p>										●判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
●判断基準		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																					
		50%以下	80%以下	80%を超える																																						
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																					
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																					
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																					
	60%未満	b'	c	c	c																																					
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	植栽工事・公園施設工事	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 施設構造物の肌、通り、収まり等仕上げの状態が良い。 <input type="checkbox"/> ② 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> ③ 遊具等の作動が安全でかつ良好に作動する。 <input type="checkbox"/> ④ 維持管理等の配慮が良い。 <input type="checkbox"/> ⑤ 全体的な修景が良い。					●判断基準 該当項目が4項目以上・・・・・・ a 該当項目が3項目・・・・・・ b 該当項目が2項目・・・・・・ c 該当項目が1項目以下・・・・・・ d																																		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	特殊地下壕等	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 設計図書に基づくエアモルタルの配合試験及び試験練が行われており、適切なエアモルタルの規格（セメント砂重量比C：S、強度）が確認できる。 <input type="checkbox"/> ② エアモルタル打設時に必要な試験を実施しており、フロー値、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 圧縮強度試験に使用したエアモルタル供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、日当たり充填高さ等を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> ⑤ 有害なクラックがない。 <input type="checkbox"/> ⑥ 逆勾配などの天井部において、空気残留が発生しないような対策を行っている。 <input type="checkbox"/> ⑦ その他 理由： _____					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																																
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口チェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 ③評価値（％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。 </div>					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 </div>																																	
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>●判断基準 該当項目が3項目以上・・・・・・ a 該当項目が2項目・・・・・・ b 該当項目が1項目・・・・・・ c 該当項目がなし・・・・・・ d</p> <p>注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p>									ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
		50%以下	80%以下	80%を超える																																					
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																				
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																				
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																				
	60%未満	b'	c	c	c																																				

審査項目	細別	工種	a		b		c		d	
			優れている		やや優れている		他の評価に該当しない	やや劣っている		
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	特殊地下壕等	<input type="checkbox"/> 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 坑口の仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> ② クラックがない。 <input type="checkbox"/> ③ 漏水がない。 <input type="checkbox"/> ④ 全体的に美観が良い。				●判断基準 該当項目が3項目以上・・・・・・ a 該当項目が2項目・・・・・・ b 該当項目が1項目・・・・・・ c 該当項目がなし・・・・・・ d			

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	上水道工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																												
			※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> ② 布設面に不陸がなく、管接合部の床掘が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> ③ 管布設及び接合が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> ④ 切管部の加工が適切に行なわれている。 <input type="checkbox"/> ⑤ ボルトの締付け確認が行なわれ、適切に記録（トルク値）が保管されている。 <input type="checkbox"/> ⑥ 曲線部、分岐点の施工状況が写真等で確認出来る。 <input type="checkbox"/> ⑦ 全体の布設状況が確認でき、規定の土被りが確保されている。 <input type="checkbox"/> ⑧ 埋戻による締めを適切な方法で施工している。 <input type="checkbox"/> ⑨ 通水状態、水密性の確認を行なっている。 <input type="checkbox"/> ⑩ 弁栓類が基準どおり設置されている。 <input type="checkbox"/> ⑪ 竣工図が適切に整備され、写真で管の埋設状況が確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑫ その他 理由： _____							ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を越える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能																											
			●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を越える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注：試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を越える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を越える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
			①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口チェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率（%）計算の値で評価する。 ③評価値（ % ）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。																																		

審査項目	細別	工種	a	b	c	d	
			優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	上水道工事	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 仕切弁、消火栓及び鉄蓋類の路面とのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> ② 弁室内のすれ、浮き、クラックがない。 <input type="checkbox"/> ③ 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> ④ 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> ⑤ 全体的に美観が良い。		●判断基準 該当項目が4項目以上 a 該当項目が3項目 b 該当項目が2項目 c 該当項目が1項目以下 d		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【 土 木 】
(検査員)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	下水道工事 (推進工事を含む)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙-4 参照。 「評価対象項目」 【材料関係】 <input type="checkbox"/> ① 設計図書に基づく材料の規格・材質・寸法が確認できる。 <input type="checkbox"/> ② その他 理由： _____ 【土木関係】 <input type="checkbox"/> ① 布設基面に不陸がなく、管接合部の床掘が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> ② 掘削時の土留めや推進時の掘進による、周辺への影響が見られない。 <input type="checkbox"/> ③ 埋戻において、締固めが適切な方法で施工されている。 <input type="checkbox"/> ④ その他 理由： _____ 【管渠関係】 <input type="checkbox"/> ① 管渠布設は、事前にやり形を設置し、施工基面の高さをチェックしていることを確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 管渠布設は、安全かつ適切な方法で施工している状況が確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 管渠布設は、規定の勾配・基準高さ寸法が確保されている。 <input type="checkbox"/> ④ 管材料等の接合が、確実に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 管布設等が竣工図と一致している。 <input type="checkbox"/> ⑥ その他 理由： _____ 【マンホール・柵関係】 <input type="checkbox"/> ① マンホール・柵等の接合が確実に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ② インパートの高さ・勾配・寸法が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 足掛金物が確実に設置されている。 <input type="checkbox"/> ④ その他 理由： _____ 【薬液注入関係】 <input type="checkbox"/> ① 使用材料（硬化材、助材含む）の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> ② 使用材料（硬化材、助材含む）の入荷及び空袋で監督員の立会いを行っている。 <input type="checkbox"/> ③ 削孔深さ、注入長の確認が出来ている。（監督員立会） <input type="checkbox"/> ④ 注入量、圧力等が確認できるような適切な施工を行っている。 <input type="checkbox"/> ⑤ 観測孔及び水質等の管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> ⑥ 注入効果の確認を行っている。 <input type="checkbox"/> ⑦ その他 理由： _____				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																													
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px;"> ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口にチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率（％）計算の値で評価する。 ③評価値（ ％）＝該当項目数（ ）／評価対象項目数（ ） ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C評価とする。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px;"> ●判断基準 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。 </div>										評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

審査項目	細別	工種		a	b	c	d
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	下水道工事 (推進工事を含む)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 管の通りが良い。 ② 材料のかみ合わせが良い。 ③ 漏水がない。 ④ 曇りクラックがない。 ⑤ 仕上げがよい。 ⑥ 端部処理が良い。 ⑦ 全体的に美観が良い。 ⑧ 既設構造物のすり付けが良い。 ⑨ 埋戻及び路面復旧の状態が良い。	●判断基準 該当項目が8項目以上・・・・・・ a 該当項目が7項目・・・・・・ b 該当項目が6項目・・・・・・ c 該当項目が5項目以下・・・・・・ d		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【 土 木 】
(検 査 員)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	下水道工事 (シールド)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																											
			※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 設計図書に基づく材料の規格・材質寸法がミルシート等により確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 規定の勾配・基準高さ等が確保されている。 <input type="checkbox"/> ③ 日々計測管理を行っており、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ 人孔(マンホール)が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> ⑤ 2次覆工において漏水がない。 <input type="checkbox"/> ⑥ 裏込め注入を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> ⑦ 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ等を確保し適切に行っている。 <input type="checkbox"/> ⑩ その他 理由： <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口をチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数() ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。 </div>					品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。																													
			ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能																																		
			●判断基準 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

審査項目	細別	工種		a	b	c	d
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	下水道工事 (シールド)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 管の通りが良い。 ② 材料のかみ合わせが良い。 ③ 漏水がない。 ④ 傷やクラックがない。 ⑤ 仕上げがよい。 ⑥ 端部処理が良い。 ⑦ 全体的に美観が良い。 ⑧ 既設構造物のすり付けが良い。 ⑨ 埋戻及び路面復旧の状態が良い。	●判断基準 該当項目が8項目以上..... a 該当項目が7項目..... b 該当項目が6項目..... c 該当項目が5項目以下..... d		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【 土 木 】
(検査員)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	下水道工事 (更生工事)	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																											
			※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ① 材料の品質規格証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> ② 仕上り内面には膨れ、しわ、扁平、破損等がなく適切に施工している。 <input type="checkbox"/> ③ 既設構造物との接合部の仕上りが良い。 <input type="checkbox"/> ④ 取付管口の仕上りが良い。 <input type="checkbox"/> ⑤ 施設内に漏水がない。 <input type="checkbox"/> ⑥ 硬化性樹脂材の硬化時の時間及び温度管理の記録が整理されている。 <input type="checkbox"/> ⑦ 製管材の裏込材の注入量の記録管理が整理されている。 <input type="checkbox"/> ⑧ 品質試験等の管理記録が整理されている。 <input type="checkbox"/> ⑨ その他 理由：					ばらつきの評価 <input type="checkbox"/> ばらつきが50%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%以下 <input type="checkbox"/> ばらつきが80%を超える <input type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能																													
			①当該「評価対象項目」のうち、対象項目は左の口をチェックを記入する。 ②評価対象項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数() ④なお、評価対象項目数が2項目以下の場合は C 評価とする。					●判断基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

審査項目	細別	工種		a	b	c	d		
				優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている		
3. 出来形及び出来ばえ	III. 出来ばえ	下水道工事 (更生工事)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	「評価対象項目」 ① 管の通りが良い。 ② 材料のかみ合わせが良い。 ③ 漏水がない。 ④ 腐やクラックがない。 ⑤ 仕上げがよい。 ⑥ 端部処理が良い。 ⑦ 全体的に美観が良い。 ⑧ 既設構造物のすり付けが良い。 ⑨ 埋戻及び路面復旧の状態が良い。				●判断基準 該当項目が8項目以上..... a 該当項目が7項目..... b 該当項目が6項目..... c 該当項目が5項目以下..... d	